

ヒトと同じ仲間 いろいろな種類のサルに会おう ～上野動物園にも行こうシリーズ③～

国立科学博物館 地球

館

3

階

4/3

ヨシモトコレクション われわれの隣人



1

いろいろなサルの「しっぽ」をみてその役割を考えよう

1997年まで
上野動物園
で暮らして
いたニシゴ
リラの「ブ
ルブル」が
いるよ。



サルの種類	しっぽの特徴	しっぽの役割
フンボルト ウーリーモンキー	長く先が丸まる	木の枝などにかからめて体を支えたり 第3の手のように使う
ショウガラゴ	体のわりに大きく、先が太く なっている	枝などの移動の時にバランスをとっ ている
ワオキツネザル	しっぽ全体がきれいな白黒の 縞模様	相手の威嚇や仲間との感情表現 などに使っている
パタスモンキー	細長くのびている	移動の際の体のバランスをとる
ピグミー マーモセット	小さな体のわりに体と同じくら い長い(15cmくらい)	移動の際の体のバランスをとる
アビニシアコロブス	全体にこげ茶色だが、先は 白く縞のように広がっている	相手の威嚇や仲間との感情表現 などに使っている

国立科学博物館 地球

館

B2

階

30

霊長類の進化 ヒトと類人猿の仲間たち



2

いろいろな類人猿の「骨格」をみてみよう

前肢（腕）と
後肢（足）の
長さや骨盤の形
のちがいに

骨盤の向きや角度などの構造
と歩き方（移動の仕方）を関
連付けて考えられるとよい。



サルの種類	移動に使う 前肢と後肢の特徴	骨盤の特徴
ゴリラ	後肢より前肢が長い。	骨盤は縦長になっている。
チンパンジー	後肢より前肢が長い。	骨盤は縦長になっている。
シロテナガザル	後肢より長い前肢で移動。	骨盤は縦長になっている。
オランウータン	樹上生活で後肢と長い前肢で移動。	骨盤は縦長になっている。
ヒト	直立二足歩行ため、腕（前肢）が 短く足（後肢）の方が長い。	背骨がS字状で土踏まずがある。 骨盤は横広になっている。

学習指導要領「生物の種類の多様性と進化」において、既習事項の「動物の体の共通点と相違点」を生かし、現存している多様な生物は進化によって生じたものであることを理解させ、生命尊重する態度を育てたい。

チンパンジーやゴリラは、指の背を地面につくナックル歩行である。これはヒトの二足歩行の起源とされる説が有力である。



3

サルの行動を観察しよう

サルでも種によって生活の仕方が様々だよ。どのように生活しているのかを観察してみよう。



いろいろなサルの行動を観察して、記録しよう。



◎移動の仕方
◎手足のつくり
◎手足の使い方
など、視点を持って観察しよう

- ・主に果実を食べるが、植物の葉、花、種子、キノコ、卵、昆虫なども食べる。
- ・群れの個体はすべての個体間で力の強弱による順位が決まっており、全体として直線的な順位制を持っている。
- ・群れによる集団で**行動**し、決まった**行動範囲**の中で周期的に動く。
- ・群れはメスと子どもを中心に構成され、十数頭から百頭を超えることもある。
- ・オスは大人になると群れを離れて単独で**行動**したり、他の群れに移ったりする。
- ・高い学習能力を持ち、行動圏内の食べられるものを覚えていく。

(東園にいるサル) シロテテナガザル・ニシローランドゴリラ・アビシニアコロブス・ジェフロイクモザル・ニホンザル・シロガオサキ・ブラッザグエノン
(西園にいるサル) ワオキツネザル・エリマキキツネザル・アイアイ・ハイイロジェントルキツネザル・クロキツネザル



樹上生活に適応したサルの特徴とは何だろうか



感じたこと

わかったこと

考えたこと

樹上生活では、木から木への移動、或いは果実や葉の採食が求められる。

- ・モノをつかむ能力：親指と他の4本の指が向き合うようになり、物を指でつかむ能力が発達した。
- ・直立姿勢：森林生活の中で手で食物をとる採食行動などによって上体を直立する姿勢を確立した。
- ・空間認識：樹上で生活するために枝から枝への跳躍などに際して距離を正確に把握する必要性から、両眼が顔の前面に並ぶように進化するとともに、多彩な色覚を獲得したとされている。



学習指導要領「(1) いろいろな生物とその共通点」の「動物の体の共通点と相違点について」では、身近な動物の外部形態の観察を行い、その観察記録などに基づいて、共通点や相違点があることを見いだして、動物の体の基本的なつくりを理解すること、とあります。サルという同じなかま同士を比較して観察することで、同じなかまの中にも多様性があることを見いださせたいところです。また、博物館に隣接する上野動物園には、多くの種類の霊長目（サル目）が飼育展示されています。サルの仲間は樹上生活に適応したものから、地上で行動することに適したものまでいろいろな生活のしかたがあります。しっぽの役割と行動との関連について、生きたサルの観察をすることで、体のつくりには行動につながる役割があることを見いだすきっかけになると良いでしょう。